

胎内市

Tainai City Assembly



# 議会だより

平成21年

5月1日

No. 17



長池公園のチューリップ

**第1回定例会** 平成21年  
(2月24日～3月19日)

2～3 ページ

**会派代表質問 4会派代表**  
(内容は会派の草稿によるものです。)

4～5 ページ

**一般質問 11議員 市政を問う**  
(内容は本人の草稿によるものです。)

6～11 ページ

**3常任委員会審査、討論**

11～15 ページ

**平成21年度予算審査**

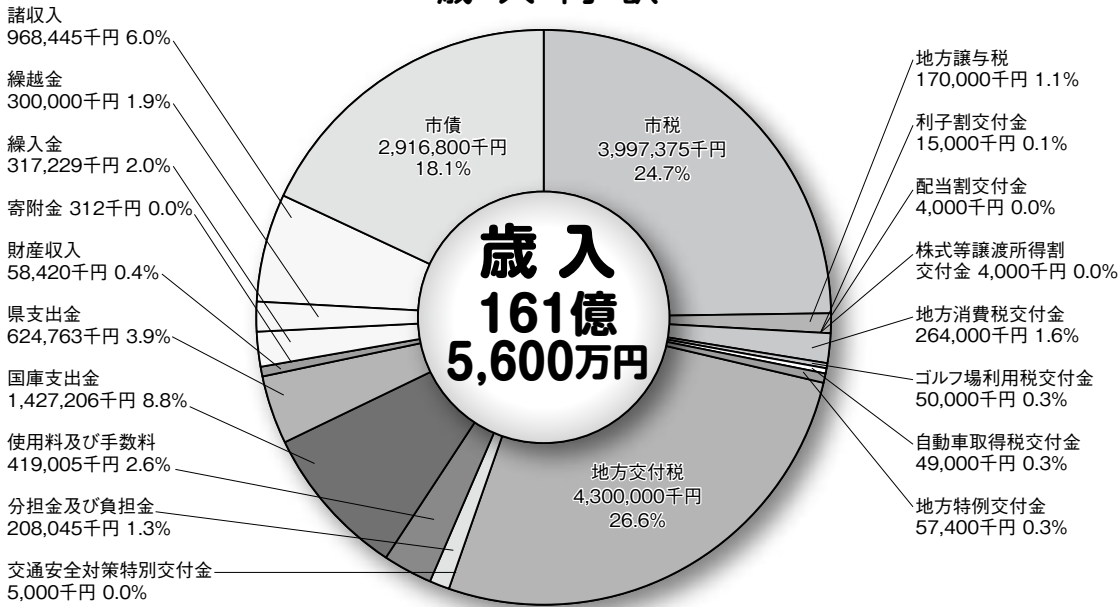
16～19 ページ



デマンドタクシー

**第1回**  
**定例会開催**  
 2月24日～3月19日

### 歳入内訳



21年度

一

般

会

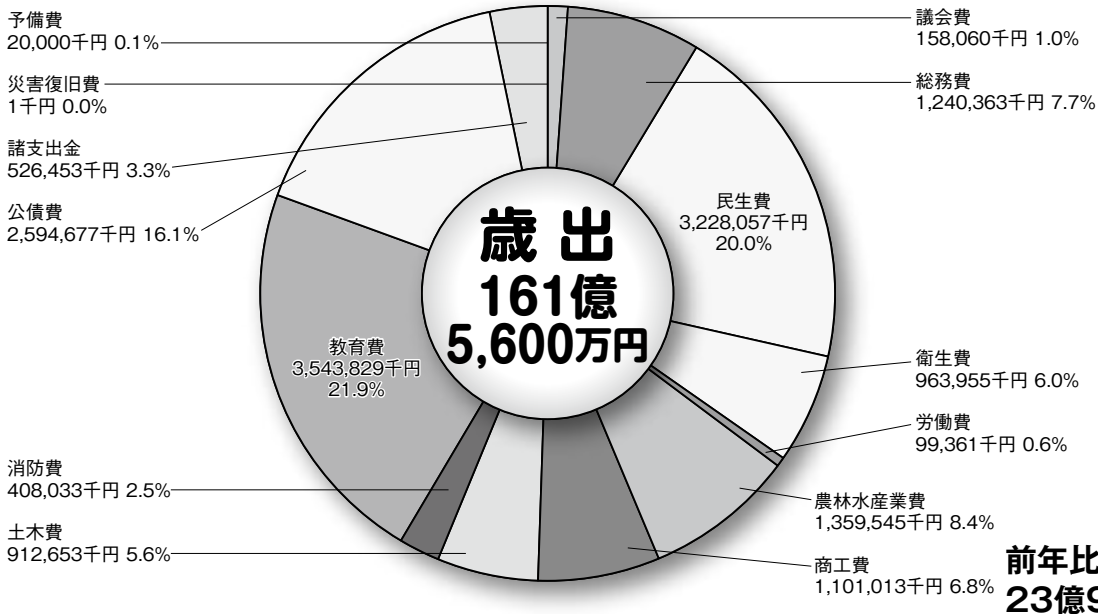
計

予

算

可

### 歳出内訳



前年比  
23億9,600万円増

# 第1回定例会

# 21年度予算

## 概要

第1回定例会が2月24日

から3月19日まで、24日間の会期で開催された。初日の24日には、市長の施政方針演説が行なわれたのちに、21年度一般会計・特別会計・公営企業会計の予算審査特別委員会が設置され付託された。又35件の議案が提出され各常任委員会に付託され、20年度一般会計補正予算が可決された。

3月6日には、胎内市で初めての、会派代表質問が行なわれ、4会派が質問に立った。

9日、10日には、市政に対して11名の議員が一般質問を行なった。

11日、12日、16日には、予算審査特別委員会が開か

れ、一般会計・特別会計・公営企業会計で活発な審査、質疑応答が行なわれたのち採決された。

19日最終日には、16件の予算議案、各常任委員会審査を経た35件の議案のうち2件について討論が行なわれた。更に追加案件として、議案4件、同意2件、報告5件、農業委員推薦、議員発議2件が提出され、趣旨説明の後、原案のとおり可決された。

## 一般会計予算

前ページのとおり

## 特別会計

・国民健康保険事業

32億2,600万円

・老人保健事業

2,800万円

・後期高齢者医療

2億6,000万円

・介護保険事業

22億3,100万円

・農業集落排水事業(乙・黒川地区)

4億5,040万円

・特定環境保全公共下水道事業(荒井浜)

3,050万円

・公共用地先行取得事業

7,500万円

・黒川診療所運営事業

1億1,600万円

・観光事業

5億7,730万円

・地域産業振興事業

4億7,060万円

・簡易水道事業

1億4,660万円

・鹿ノ俣発電所運営事業

4,280万円

32億300万円

・水道事業

13億1,300万円

・工業用下水道事業

245万円

※公営企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

## 主な事業

○統合小学校建設事業(19年〜22年度)本年度は、22年4月開校に向けての校舍建設工事(2年目)体育館、食堂の建設工事、外構工事、モニュメント制作などの委託料、各種備品購入費。

17億9,969万円

○小・中学校耐震改修設計事業、耐震化優先度調査の結果を受け、第二次診断を実施。

21年度実施校、黒川・鼓岡小学校、黒川中学校。

3,231万円

○小・中学校耐震改修設計事業、耐震化第二次診断の結果を受け、耐震化改修設計を実施。21年度実施予定校、中条・大長谷小学校、中条・築地中学校。

中条・築地中学校。

1億6,600万円

○デマンドタクシー実証運行事業、平日、日中の時間帯にデマンドタクシーの実証運行を行い、公共交通の利便性と回遊性の向上及び中心市街地の活性化を図る。

2,037万円

○生きがい活動支援通所事業、在宅の要介護高齢者、要援護となるおそれのある高齢者等に、デイサービスセンターで生きがい活動や交流を行ない、健全な心身の維持及び各種介護予防を行う。

1,447万円

○個別予防接種委託事業、インフルエンザ、麻疹(はしか)・風しん混合、21年度からBCG・三種混合・二種混合・日本脳炎を集団接種から個別接種に移行し感染症予防を図る。

5,746万円

○農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業、新規需要米(米粉用米)の生産規模拡大と米粉の需要が高まる中、農業振興活性化の

観点から、新潟製粉(株)が新たにいなう、米粉処理加工施設整備に国からの、交付金を交付する。

3億8,551万円

○プレミアム商品券事業、個人の消費意欲を喚起し、地域商業の活性化を図るため、10%のプレミアム付き商品券を発行する商工会に助成を行う。

1,000万円

○トキめき新潟国体推進事業、トキめき新潟国体を本市においても開催する。開催競技、ゴルフ少年男子、ライフル射撃(CP以外)、デモンストレーションスポーツ行事(ランドゴルフ)

5,710万円

○胎内アウレツツ館事業、豊かな自然とふれあい、健全な青少年育成と市民の生涯学習等の充実を目的とし、運営及び利用促進のため営業活動を行う。

8,734万円

## 公営企業会計

・公共下水道事業



# 政和会 国の景気、経済対策に市の対応は

**【質問】** 混乱した国会で、ようやく20年度第2次補正予算が成立した。定額給付金5億円、地域活性化生活対策臨時交付金2億円余りが胎内市に交付された。また21年度予算も景気対策を重点とした施策が盛り込まれている。私はこの低迷した今こそ、公共事業の前倒しを含め思い切った政策が必要と思うが。

**市長** 先日可決いただいた20年度一般会計補正予算に、国の第2次補正予算の成立にともない7億円を予算化した。速やかに実施していく。また、今迄単独の投資的経費を事業費で5億円の枠内で運営してきたが、21年度は地方交付税の地域雇用創出推進費が措置されることから、事業費で1億7千万円を上積みして盛り込んだ。この事により、道路施設等の単独事業を実施し市の活性化、雇用の創出につなげていきたい。また、新潟製粉㈱が行なう米粉処理施設建設にも補助を計上しているが、完成後の雇用にも期待している。



## 市長選に向けての決意表明は

**【質問】** 胎内市の初代市長として「自然が活きる、人が輝く、交流のまち」を基本理念とし市政運営をやってこられた。防災行政無線の設置、ライフラインの整備、教育施設の改善、企業誘致等、着実に成果を上げている事に多くの市民が敬意を表していると共に、吉田市長の市長選出馬を望んでいる。市長の力強い決意表明を伺う。

**市長** 市民の皆さんのご支持がいただけるのであれば引き続き新しいまちづくりが成り得るよう努力していきたい。

# 緑風会 景気・雇用対策について

**【質問】** 市内企業の景気動向と雇用状況の調査結果は。

**市長** 10人以上雇用している企業を対象に、21年度新規採用予定数と雇用状況について調査を実施。258事業所に対し、回答があったのは177事業所。新規採用予定者79名、内定取り消しは無いが、雇い止めを含め正規社員15名、派遣社員89名、契約社員73名の解雇の実態が判明。

**【質問】** 地元企業の救済策と雇用の安定確保は

**市長** 21年度予算に、国の緊急雇用対策に呼応して市の投資的経費を増額し、地域経済の活性化及び雇用創出を図る。また、建設・土木業では地域活性化・生活対策臨時交付金事業を前倒しして工事の発注に努めている。

**【質問】** 地元企業を優先とした入札制度の改善は

**市長** 市の入札制度は品格法を遵守しているか。

**市長** 工事に関する技術水準の向上や、請負業者の適正な選定及び指導育成を図ることを目的に、請負工事成績評定実施要領を作成し業者の指導育成を図っている。また、品質確保を目的に総合評価による一般競争入札を試行している。

**【質問】** 除雪対応、防災協定などの地域貢献に対する対応は。

**市長** 価格だけで評価していた従来の落札方式を改革し、地域貢献の評価として道路除雪、維持修繕及び防災協定の締結や災害時における活動実績等、価格以外の要素を含めて総合的に評価することに取り組んでいる。

**【質問】** 第三セクターの設立が順延された具体的理由は。

**市長** 昨年末から経済・金融情勢が悪化している状況の中で、(株)不二産業が金融機関に融資を受けることになっているが、金融機関側から当該事業に係る融資金額が多額であることから、現時点で融資の正式承認に至っていない。また、JA黒川村の企画が確定していない状況もあり、事業着手に一抹の不安を感じている。

## 第一回

# 会派代表表



代表 水澤 寅一



代表 渡辺 宏行

# 4名の会派代表表

# 質問

## 志政会 在任期間の自己総括は



代表 菅原市永

【質問】 在任期間の自己総括は。

【市長】 地域・環境づくりの市政を前進させた。

【質問】 在任期間の総括と予算編成に取り組まれた政治理念、政治姿勢について。

【市長】 地域に偏らない行政を推進すると同時に「自然が生きる、人が輝く、交流のまち」を基本理念に第一次胎内市総合計画を策定し、市民の皆さんが安心して暮らせる住みよさを実感できるまちづくりに努めてきた。災害に対する備えとしての防災行政無線の完備、地域を創出する企業誘致の推進、第3子に係る保育料の無料及び出産祝い金の増額、3歳未満児保育の拡大、新たな公共交通サービスの導入、教育環境の向上策として、教育主事の配置、統合小学校「平成22年4月」開校など社会基盤の整備、福祉、環境、教育等の政策に取り組み、今後は、事業の成果を検証し行政運営に反映させる。自己総括として地域づくり、環境づくりを前進させた。

【質問】 在任中に公約した事項の政策遂行の考えは。

【市長】 胎内リゾート活性化策で、平成24年度を最終とし5カ年での再生を目指す。リゾート再生なるのか振興課の設置

【質問】 観光「5施設」の再生と新たな運営組織への移行準備のため振興課を立ち上げたが具体的な収支計画と、職員の身分保障は。

【市長】 22年度にはプライマリバランスの均衡を図り、23年黒字化、24年経営を軌道に乗せ、出向する職員の身分は、差異がないよう調整する。

【質問】 旧黒川地区小学校の改修と統合は

【市長】 旧黒川地区3校の小学校において、耐震診断、改修設計事業を実施する。将来学校の利活用を含め、関係住民に統合の賛否を問う考えは。

【質問】 保護者や地域がどのように判断するのかを最大限尊重した上で、統合の可能性を議論する必要があると考える。

【市長】 胎内小学校の屋根の基本設計について。中条中央病院外科外来の廃止について。

【その他】

## 自由クラブ 県北の中核都市たれ



代表 須貝 繁

【質問】 合併はいま新市計画のもと地域間融和、官民協働にむけ順調に推移していると認識しており、合併特例債の活用に慎重な方向での取り組みに我が会派も賛意を示すところである。

【市長】 お釈迦様の言葉に「因果具時」という教えがある。現在の成果を知らんと欲すれば、過去の原因を見よ、未来の成果を知らんと欲すれば現在の原因を見よ、と再選にむけて市民との約束の達成度をどう自己評価しているかを伺う。

【質問】 阿賀北中核都市への展望について

【市長】 公約は概ね実行出来たと思う。

【質問】 平成の合併により、新発田、村上の間に位置する胎内市の将来展望は明るいのか。

【市長】 先日発表された「定住自立圏構想」における中心市リストに胎内市はなく、阿賀北の特色ある都市にむけて市政の充実、歴史の蓄積のある村上市北部との文化、経済の

交流を更に深め、日沿道、国道7号他との交通の要衝としての地の利を活かす戦略が必要と思うが。

質問をぶつける!!

【市長】 地域力向上に努める。

【質問】 個性ある都市行政への期待と課題について

【市長】 本年度予算において県下20市最高の積極予算であるが、その内実は、統合胎内小学校建設費、米粉工場新設工事が突出し、市内の景気浮揚となる一般投資経費や福祉、民生費は前年を割り込んでいる。

少子、高齢化、市街地商業の衰退、農林漁業者の展望のない現況、医療院の医師不足、特養の慢性的な待機者増など難問山積である。文化の薫り高い、住んでいることに誇りを持つ、胎内市の個性と特色ある町づくり、子育てや福祉、箱物でない教育費に配慮した諸施設、予算であると言えるか、市政への強い決意をうかがう。

【市長】 地域特性を尊重した自立都市を総合計画に添って進めたい。

# 防災情報 受信対応体制は

**市長** 対象別、地区別に区分発信する



小野康男 議員

**議員** 4月から本格的に防災情報が開始されるが、受信する市民や市外来客者の安全対応・避難マップは。

**市長** 災害は複雑多様化。

情報を誤りなく発信する。**総務課長** 避難ヶ所を明示した防災マップを全戸に配布し、安全に万全を期す。

## 市と県防災 ふる里宣言

**議員** 県は、首都圏百万人程度の防災グリーンツーリズムの年間受入れを宣言した。市と県の整合性と積極性を伺う。

**市長** 市グリーンツーリズム301人会は、豊かな自然資源により都市生活者受入れを率先実施している。県の立案を見定め、整合性の整備を受入れ発展させる。

**総務課長** 県外者の防災安全策は今後検討する。

## 摂食と生活習慣病は

**議員** 人体は6兆個の細胞で成り、支えは本能によって、日々3食摂取する食事習慣。近年の輸入食材の摂取や不規則摂取で、健康体を患う傾向がある。これは医療以前の問題であり、

健康維持のため、習慣を改革する必要があると思うが、健康行政について伺う。

**市長** 家庭食の知識調理習慣が、核家族化や就業変化によって選り好みや不規則を助長していると指摘されており、市内136人の健康委員等や、学校給食の食育とも連携を図り、健康福祉課を主体に食に対する事業を実施したい。

## 地区名と地縁団体は

**議員** ①市の4地区名は各固有の文化と思うが、行政の活用を伺う。

②自治会財産権継承のため認証法人化が必要な時代だが、地縁団体の認定数は。普及を図るべきと思うが。

**市長** ①地名は文化尊重②市の認定法人は43。区長会で法人制度の普及を図りたい。



**議員** 中条中央病院の外科医2名の退職に伴い、4月から外科を休診することになり、市の主要医療機関として憂慮する事態になったが、今後の対応は。

**市長** 地元医師会をはじめ、県や医療機関に働きかけ、医師の招致に努める。

**議員** スマートインター構想は、現段階でどうなっているのか。

**議員** 23年度から小学5・6年生に実施される外国語活動に向け、どのような準備を進めているのか。

# 外科医退職に伴う対応は

**市長** 医師の招致に努める



松浦富士夫 議員

不足が進む中、年々負担も重くなり、現状のままでは閉院になりかねないが、市民に安心な医療の提供をどのように要望していくのか。

**市長** 一番なのは医師であり、それを含めた中で、県と話を進めていく。

## 日沿道関連について

**議員** 日沿道が開通することに伴い、中条IC経由で運行している高速バスの停留所は、今後どのような運行経路になるのか。

**地域整備課長** 運行経路は、(仮)荒川ICから7号線になると思われる。高速バス停は、現在鴻ノ巣地内で工事中であり、又現在中条ICを含め、市内3ヶ所のバス停の存続は難しい。

## 小学校の英語授業について

**議員** A.L.Tを入れた活動を全小学校で繰り広げており、外国語活動の充実を目指したい。

## 全国体力テストについて

**議員** 全国体力テストに参加した市の、学校数と児童生徒数は。

**教育長** 市内の全小中学校が参加し、小学5年生302名、中学2年生313名が参加した。

**議員** 市の児童生徒の体力レベルはどのくらいなのか。

**教育長** 小学校男子で50メートル走を除き、全国平均を上回っている。女子はすべて上回っている。中学男子でシャトルラン、女子は持久走を除き、全国平均を上回っている。

※ P20の用語解説参照



# 定額給付金給付事業への期待は



新治ひで子 議員

**市長** 皆さんの経済、市の経済向上を願っている

**議員** 高齢者等への対応、外国人がいる世帯やDV被害者への給付、PRや記入

方法、問い合わせ窓口の設置、詐欺の防止対策は。

**市長** きめ細かな対応、専用窓口の設置、市報への掲載を徹底したい。

**議員** プレミアム商品券の利用者拡大のため。一人当りの購入限度額を下げている。参加商店の拡大や商店街の消費拡大セールの実施は。

**地域整備課長** プレミアム商品券は500円券11枚つづりを5千円で発売、一人の限度額5万円。商工会に加盟していない商店でも申請により参加できる。実施可能か協議したい。

## 学校への太陽光発電の導入は

**議員** 環境教育の推進、防災拠点強化のために、学校の耐震改修と併せて、太陽光発電設備の導入を進めては。

**教育長** 耐震補強や改修計画策定の中で、十分検討したい。

**議員** ①天井材の落下やガラスの飛散防止対策、校舎

内のバリアフリー化、エコ改修は。②校庭の芝生化は、児童の外遊びが増え、校庭でのケガが減少、校庭の砂塵防止などのメリットが多いが、取り組みは。

**教育長** ①耐震化工事に合わせ実施できないか検討したい。②築地小、胎内小の芝の生育状況を見ながら検討したい。

## 地上デジタル放送への円滑な移行推進は

**議員** 平成23年7月のアナログ放送終了に伴う①高齢者・障がい者へのきめ細かな受信説明会の実施は。②受信障害世帯の把握、山間部の視聴困難地域への対策は。③不要になったアナログテレビの大量不法投棄も視野に入れたリサイクル対策は。

**市長** ①デジタル放送推進協会がサポートする。②放送事業者が黒川中継局の改修を実施し、秋には改善する。③わかりやすいサイ

クル方法の周知に努める。

# 減反やめるべきでは



鈴木信雄 議員

**市長** 新年度は無理

**議員** 平成19年以降、我等の稲作の採算は米代金10アール当たり11万円弱。苗代金、作業料、肥料、土地改良費等、支払った金額が11万円強。1銭の所得もなく、まさに骨折損のくたびれもうけであった。しかも、自家消費の保有米迄に金を出した計算である。私も60年以上も米作りをしてきたが、このような経験は初めてである。減反政策も全国的にみて100%を割り、政府のミスで工業用米や事故米が、タダ同然の価格で生食用にまわっているような実情では、目的である価格維持などできるわけがない。直ちに廃止すべきである。近く行なわれる総選挙に向け民主党は個別所得補償制度を掲げている。最近になり石破農水相も減反の選択制を打ち出している。いずれにしろ来年からの減反政策は大きく変わると思う。当市は、これを先取りして減反を新年度より廃止すべきでは。

**市長** 新年度からは無理で

ある。

## 悪臭問題

**議員** 40年来の問題である悪臭も、昨年ようやく正式に臭気測定に踏み切った。一步前進の感じがある。農漁村も昔と違い、今では下水道を備えた立派な住宅地だ。近くに学校もある。公害防止協定の違反者には、改善命令から始まる法的介入を直ちに、実行すべきでは。

**市長** 今後も強い姿勢で取り組んでいく。

## 油濁出問題

**質問** 中越地震で始まった油の湧出も昨年の10月末でドラム缶で250本に及び、1千数百万円処理費を費やし、今も月3本のペースで出ており、地下水汚染の心配もある。被疑者不特定で刑事告訴をし、損害賠償に結びつけるべきでは。

**市長** 県とも連携をとりながら対策を講じる。  
\*その他の質問  
・不況対策



議員 民間業者委託は本当に良いことなのか。委託による職員の身分、委託業者

# 学校給食の民間委託に抱く不安への説明を



佐藤 秀夫 議員

**教育長** これまでの考え方を踏襲し 変わらぬ給食を提供

への指揮監督、地元生産業者との関りは。

**教育長** 現在の調理員は

今後市の職員として給食業務に従事させる。業務に対し直接の指導はできないが、指示書による業務責任者への指示、緊急時の指導が可能。食材については、できる限り地域の食材を利用し、地元業者を平等に活用するという考え方が後退するものではない。

**議員** 学校給食の地元食材

の取り扱いはどうだろうか。  
**教育長** 19年度で県内産29・6%、胎内市産10・8%で、20年度は食育、地産地消の取り組みにより数字が上がるものと期待している。

**議員** 委託をしたときの経費の比較は。

**教育長** 19年度ベースで約1千3百万円の節減と試算。

**議員** 問題発生の際の責任の所在は。

**教育長** 調理現場の事故は委託先の責任となるが、場合によっては教育委員会の

## 国体選手育成の施策は

責任も発生すると考える。

**議員** 国体を機会に国、世界に通じる青少年の育成はどうか。  
**教育長** 国体を契機に住民参加による生涯学習事業推進を行う。運動好きの子どもたちの育成といった市に課せられた生涯スポーツの推進から、競技スポーツ各団体による選手強化へとつながる体系を考えていきたい。

## 有楽荘の有効利用について

**議員** 高齢者福祉施設有楽荘の利用状況は。  
**市長** 老人クラブをはじめ幅広い分野における地域交流の拠点施設として、指定管理者である胎内市社会福祉協議会の事業計画に基づき計画的に運営されている。



**議員** 緊急雇用創出事業の内容は。  
**市長** 公園・公道整備、観光地整備、スポーツ推進、

# 雇用対策は



高橋 政実 議員

**市長** 21年度から3年度にわたり臨時雇用を計画している

事務補助、国体開催、商店街活性化各事業で予定している。  
**議員** 市職員の退職・採用状況は。

**市長** 本年度退職24名、採用14名である。

**議員** 失業者の多い今日、プラス雇用創出は。

**総務課長** 定員適正化計画は有るが、勧奨退職などもあり臨時職員は増えるかと考えている。

## 景気と財政見直し

**議員** 市内企業の経営状況をどう見ているか。  
**市長** 原材料価格高騰対策緊急保障制度に伴う中小企業信用保証法認定申請件数が、4～10月15件であったものが、12月32件、1月23件、2月34件と急増して、世界的影響を受けている。

**議員** 税収の将来見直しは。

**市長** 市の税収への影響も大変懸念している。

**議員** 旧中条町が昭和50年代に体験した再建団体の主

な原因は何だったのか。  
**市長** 当時の財政規模からして過大な道路整備に着手した事での財源不足と関係。

**議員** 時の教訓を今後どう生かすか。  
**財政課長** 当時道路整備を債務負担でやった、今は財政健全化に沿って財政運営を行うので不適切な財政運営はやらない。

**議員** 米粉工場の着工と採用計画は。  
**農林水産課長** 6月頃起工式、採用は現工場15名体制なので事務系を除く規模になると思う。

**議員** 活性化の新たな代替策として、観光で外貨獲得を言う専門家がいるが、胎内リゾートの誘客計画は。  
**市長** 財団法人日本交通公社のアドバイザーのもと、営業戦略を協議してきた。各種商品開発を進めており、新潟市・関東圏をターゲットとし誘客活動を展開する。

# 30万円増額して、230万円の市長交際費は妥当か



佐藤 武志 議員

**市長** 社会通念上必要の最小限にとどめている

**議員** 交際費の中で、近隣の市町村に比べ、毎年突出して、酒類に70〜80万円前後支出しているが、町内の集會に、必ず持つていく必要があるのか、社会通念上必要なものか。

に外部との公の交際を進める上で必要。また、常識として礼儀を欠かないよう配慮している。支出は社会通念上の範囲内で、近隣市町村の状況を考慮している。

**議員** 新発田農業高校同窓会出席時に、酒を持つて行って、市に反映するものか。

**総務課長** 市から新発田農高に生徒が通学している範囲でもある。

**議員** (学)太平洋が運営・管理をしているハイスクールが、生徒2名すべて卒業し、今後、生徒募集もしなくなつた校舎を、市は、共有している友好会館、校舎土地を含め、今後どう取組むのか。

**市長** 校舎は、(学)太平洋が所有するもので、現在、学校形態について再度検討している。市としては、友好会館が一体的に利用され、国際交流、教育エリアの拠点とし、再稼働するのが望ましい。

## 損害賠償・事後処理について

**議員** 毎年、職員による公務中の事故が多発している。安全運転教育、指導も含め、今後、無事故を目指し、どう取組んでいくのか。

**市長** 安全運転管理者を中核として、安全運転の指導を徹底する。

**議員** 昨年暮れの公務中による死亡事故は、バンパーに当たつての事故と聞くと、マイクロバスの、フロントガラスが割れるほどの事故ではなかつたのか。

**総務課長** 事故処理委員会で事故原因を究明したところであり、聞いていた範囲内での説明である。

## 行政区名について

**議員** 新年度から、行政区名を、従来の中条・築地・黒川地区と地域表記、表現することに、市民に十分理解してもらえるのか。

**市長** 従来、使用している地区の名称は固定しており、理解を願う。

# デマンド交通スタート 運行財源・収支計画は



桐生 清太郎 議員

**市長** 従来の行政サービスにない画期的な事業

**議員** デマンド交通の運営主体、運行財源、収支計画は。

**市長** 管理運営は中条町商工会が、財源は国と市が折半、収支計画は現路線バスに対する赤字補填の7割とみる、利用者が増えれば市の負担が減る、従来の行政サービスには無い画期的な事業である。

**議員** 朝夕の新設路線は。

**市長** 桃崎浜〜平木田駅前線。築地〜村松浜〜中条駅前線。歙江〜平木田駅前線。小谷〜宮久〜鼓岡〜平木田駅前線の4路線を予定し利便性の向上を期待している。

**議員** 施行運行後の対応は。

**市長** 運行主体、市、地域公共交通協議会等が随時連携を取り整備を図りたい。

## 市が管理する賃貸住宅の現状と今後の方針は

**議員** 市が管理している賃貸住宅の現状を伺う。

**市長** 全647戸で入居待

ちは市営住宅で36世帯。空き室数は特定公共賃貸住宅16世帯となっている。

**議員** 老朽化している住宅の住環境整備の公園化や、民間活力活用等の検討は。

**地域整備課長** 老朽化しているのは住環境整備での取り組や、土地絡みで売却し、民間の需要で有効活用など検討したい。

## 鳥獣被害対策について

**議員** 野猿対策協議会の現状を伺う。

**市長** 野猿は6つの群れ500匹程度と見られている、平成19年度、旧黒川村80回、旧中条町57回の被害届けが出ており、地域や猟友会の協力で檻、駆除等の対応をし、今後も継続して行く。

**議員** 胎内地区集団移転跡地、境界付近植栽木の伐採を。

**市長** 現状を見て検討、決断したい。



# 胎内リゾート再生 住民説明・住民参加を



丸山孝博 議員

## 市長 十分検討し進める

**議員** 岐路に立っている胎内リゾート問題について、今こそ住民とともに考える立場から、住民説明・住民参加による議論、再生を展開すべきでは。

**市長** 地区の説明会がいいのか、集落がいいのか、十分検討し進める。

**議員** 来年度からの独自の運営会社経営について、収支の見通し、事業計画の公表は。

**市長** ロイヤル胎内パークホテルは、22年度にプライマリバランスの均等、23年度に黒字化、24年度には、ホテル経営が軌道に乗れるようにしたい。

### 景気悪化 仕事の確保を

**議員** 住宅リフォーム助成制度の創設や小規模工事登録制度の充実をおこなうべきでないか。

**市長** 市内の業者にリフォームを依頼する方に対し、その建築費用の一部を助成する制度を県内でいち早く創設したい。小規模工事登

録制度の内容や金額の引き上げ等は、今後の活用状況を見ながら検討したい。

### 入れ歯回収ボックス の設置を

**議員** 入れ歯リサイクルはユニセフを通じ、貧困に苦しむ子どもたちを助け、資源の有効活用になり、かつ福祉活動の支援として、一石三鳥である。市でもボックスの設置を。

**市長** 特に財政負担を伴うものではなく、趣旨に賛同できるので、回収ボックスの設置について、社会福祉協議会と協力して実施できるようにし、広報やポスター等で市民に周知したい。

### 消費税増税 道州制の見解は

**議員** 消費税の増税中止とせめて食料品を非課税にすること。道州制の導入は、地方自治破壊につながるが、市長の見解は。

**市長** どちらも議論の行く末など十分動向を見てまいりたい。

※P20用語解説参照

## 常任委員会審査内容

おもな  
審査内容

- 総務文教 ▶▶ 市長、市議会議員の選挙運動の公費負担について
- 厚生環境 ▶▶ 国民健康保険、老人健康保険、後期高齢者 etc 補正について
- 産業建設 ▶▶ 胎内スキー場、パーク、ニューパークホテル、ワイン施設について

### 総務文教 常任委員会

**正** 市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正

「市議会議員の議会活動と、市政の調査研究等に資するため、交付している政務調査費を増額」

**質問** 今の社会情勢の中、市民に理解を得る方策は。

**答弁** 市民感情等もあると思うが、昨年会派もでき多くの視察研修を行なっている中で、近隣市町村の額も勘案させていただいた。

**市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例**

「市議会議員及び市長の選挙における、候補者の選挙運動費用のうち、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成に係るもの、市長選挙において、選挙運動用ビラの作成に係るものについては、定められた条件を満した場合、費用の一部を公費で負担する」

**質問** 街宣車の放送設備等の付属設備は対象になるのか。

**答弁** 自動車の借上げと考えており、付属設備は含まれない。

**行政組織条例の一部を改正及び自然保護審議会条例の一部を改正**

「商工振興及び雇用対策に關し、迅速かつ柔軟に、対応できるように体制を整え、現在地域整備課が執行を行っている、商工振興部門及び雇用対策の事務を、観光課に移管し、課の名称を商工観光課と改める」

**職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正**

「一般職員の勤務時間、休暇等に関する法律及び地方公務員の育児休業等に関する法律が改正されたことに伴い、市の職員の勤務時間を改正し、並びに市の医師初任給調整手当を引き上げ改正、職員の地域手当、単身赴任手当を設ける」

**質問** 改正で、財源はどの位必要なのか。

**答弁** 地域手当対象者1名で年額25万2,196円。医師初任給調整手当1名で、年額108万円。

**質問** 臨時、パートの勤務時間が短くなり、賃金が下がると考えてよいか。

**答弁** 時間当りの賃金単価になるので若干下がるが、県の賃金単価が年々若干上がっているため、ある程度相殺できると考えている。

**質問** 育児手当は女性だけを対象にしているのか、個々によつては、男性も対象になるのか。

**答弁** 該当者はいないが、国の法に準じてやっているもので、対象になる。

**消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正**

「小型ポンプ付き積載車の導入により、機動力が高まっていることと、道路整備状況の進展、情報伝達技術の進歩が著しく、地域によつては、人口減少や高齢化などが、進んでいることから、消防団員の定員見直しを行なう」

**質問** 団員個々に係る負担は増加しないのか。

**答弁** 国は消防団員加入促進を進めている中、市は逆行しているように見えるが、今後OBなどの協力を得て加入促進に繋げ、負担が増加しないように努めていく。

**質問** OBや女性団員の確保は可能か。

**答弁** OBについては、旧黒川村から気運が出てきているし訓練等にも参加している。女性団員は現在3、4名で最低10名は確保したい。

**地域活性化・生活対策臨時交付金基金条例**

「平成20年度国の第2次補正予算に計上されている、地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、市が地域活性化等に資する事業を、着実に実施するため基金を設置する」

**学校給食運営委員会条例**

「給食センター調理業務等を民間に委託するにあたり、業務が労働者派遣でなく、請負契約に基づくものであることを明確にするた

め、給食センター施設、付帯設備を当該請負業者に貸し付ける必要があり、当該施設を行政財産から普通財産に変更し、給食センター条例を廃止し、学校給食センター条例に規定している運営委員会に、基本的事項を定める」

**質問** 年間の貸し付け額はいくらか。

**答弁** 契約上10月までだが、施設と設備を合せ37万8,750円。

**質問** 貸し付け額算定の基準と、修理、修繕費用の契約はどうなっているか。

**答弁** 算出基準は、残存価格から算定した。修理、修繕は市で行なう。

**質問** 地産・地消等は、検討できるか。

**答弁** 県内産、胎内産がどの位使われているかなどの数字を示している所であり、今後議論が高まってくると考えられるので、給食運営委員会に諮っていく。

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

### 厚生環境 常任委員会

#### 国民健康保険事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ6,838万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ32億9,542万3千円とする。歳入では、財産収入を増額し、国庫支出金、県支出金及び繰入金を減額。歳出では、これまでの事業実績を勘案し、保険給付費及び保険事業費を、それぞれ減額」

**質問** 負担金が減額になった原因は。

**答弁** 前年度、前半の給付分が予定より減額が影響し、給付費についてもバラつき、増減を繰り返している。

**老人健康保健事業特別会計補正予算**

「歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ5,512万4千円を減額し、歳出では、医療諸費で、こ

れまでの給付実績を勘案して、療養給付費負担及び療養医療負担金を減額」

#### 後期高齢者医療特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ884万7千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億8,469万3千円とする。歳入では、諸収入及び国庫支出金を増額し、歳出では、総務管理費で、保険料の追加軽減策に対応するための、システム改修委託及び、相談体制を整備するための、備品購入に要する経費を計上」

**介護保険事業特別会計補正予算**

「歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,788万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ21億3,029万7千円とする。歳入では、国庫支出金及び財産収入を増額し、歳出においては、基金積立金で、介護従事者処遇改善臨時特例交付金を適正に管理運用するため、介護従事

者処遇改善臨時特別基金への積立金を計上」

#### 簡易水道事業特別会計補正予算

「歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1,900万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億2,337万円とする。歳入では、繰越金を減額し、歳出においては、衛生費で、平成20年度における事業費の確定見込み額に合わせ、それぞれの簡易水道運営費等を減額」

**公共下水道事業会計補正予算**

「収益的収入の消費税還付金を減額し、収益的支出及び、資本的支出では、公的資金補償金免除繰上償還に伴う、借換債の額の確定により、収益的支出の企業債利息を減額し、資本的支出では、企業債償還金を増額する。また、継続費の水処理施設増設工事の、総額及び年割額の変更」

**水道事業会計補正予算**

「収益的支出の公的資金補償金免除繰上償還に伴う、

借換債の額の確定により、企業債利息を減額し、資本的収入の国から交付される地域活性化・生活対策臨時交付金を受け入れる、他会計補助金を計上。また、資

本支出では、国の平成20年度第2次補正予算に関連して、石綿管更新工事を実施するため、その経費を計上」

〔質問〕石綿管更新工事の進捗状況は、また、残りの事業量は。

〔回答〕5年計画を見込んでいたが、7年計画に変更し、残りの工事箇所は、笹口浜地内で、214メートル、東本町地内で、40メートル。また、それに付随する舗装工事等が残っている。

「コミュニティバスの運行に関する条例を廃止」

「市内の公共交通サービスの見直しにより、4月からデマンドタクシーの実証運行を開始するため、これまで市内各地と塩の湯温泉の間で運行してきた、コミュニティバスについても、より利便性の高いデマンドタ

クシーに移行させることとし、平成20年度限りで廃止する」

「後期高齢者医療に関する条例の一部を改正」

「新潟県後期高齢者医療広域連合において、平成21年度も引き続き、暫定賦課を行わないことから、本市の平成21年度における保険料の納付時期についても、平成20年度と同様に特例措置を講ずる条例の一部改正」

「介護従事者処遇改善臨時特例基金条例」

「平成21年度に改定が予定されている、介護報酬の引き上げにより、第1号被保険者の保険料も上昇することから、急激な保険料負担増の緩和措置を講ずるための財源として、国から交付される介護従事者処遇改善臨時特例交付金について、適正に管理運用するための基金を措置するための条例である」

「介護保険条例の一部を改正」

「本年4月から新たな介護保険事業運営期間に入るこ

とに伴い、平成21年度から平成23年度までの介護保険料について定めるものであり、今回の改正では、介護保険料を段階的に引き上げるなど、介護従事者処遇改善臨時特例交付金を活用して、介護保険料の上昇抑制措置を講ずる条例の一部改正」

「近隣市町村と比べ当市のアップ率は11・8%」

「近隣市町村と比べ当市のアップ率は11・8%。20市中最低の位置にある。

「介護給付費準備基金の今後の運用は。」

「年度ごとに繰越金が残れば基金の方に積立したい。」

「福祉の支援関係を、『ほっとHOUT』に一元できなないか。」

「機能分担や役割などがあるので、現時点では出さない。」

「健康づくり推進協議会条例の一部を改正」

「昨年、県が歯科保険推進条例を制定したことから、本市においても歯科保険の

推進を含めた、一層の住民の健康増進を図るべく、本協議会の協議事項に、歯科保険事業を加えるとともに、歯科の知識を有する方を、委員に迎えようとする方を増員する」

「環境美化推進条例の一部を改正」

「多様化するペットのふん害の防止と、飼い主の一層のマナー意識の高揚を図るため、本条例で飼い主に限定していた、『ふん害』の規制範囲を飼い猫を含めた、ペット全般にひろげる」

「飼い猫の飼育に関わる改正なのか。」

「他の敷地内などに『ふん害』に対する抑制効果を示す改正である。」

「猫について明記したらどうか。」

「現在のところは、『飼い犬・等』という明記で行いたい。」

「改正になった場合、範囲は広がるのか、行政担当はどうなるのか。」

「多種類、多様化の被害等があるため、農林水産

課などと連携して行いたい。」

「デイサービス条例の一部を改正」

「『デイサービスセンター』しるとり』は、浴室が完備されていないことや、施設が古いことなどから、利用者の減少が顕著になっている。今後、デイサービスセンター『と・も・だ・ち』における、サービスの充実と開館日の増加などにより、利用者への不便を掛けないよう対処することとした上、平成20年度限りで『しるとり』を閉所し、条例改正をする」

「公の施設に係る指定管理者の指定について」

「『デイサービスセンター』と・も・だ・ち』について、平成21年4月1日から平成24年3月31日までの間、現在、業務を行っている社会福祉法人二王子会に、引き続き管理運営を行わせたく、指定管理者の指定を行う」

「公の施設に係る指定管理者の指定について（3議案）」

「『デイサービスセンター』栗木野荘』『いわはら荘』『黒川高齢者センター』について、平成21年4月1日から平成24年3月31日までの間、現在、業務を行っている社会福祉法人、胎内市社会福祉協議会に、引き続き管理運営を行わせたく、指定管理者の指定を行う」

「『デイサービスセンター』栗木野荘』『いわはら荘』『黒川高齢者センター』について、平成21年4月1日から平成24年3月31日までの間、現在、業務を行っている社会福祉法人、胎内市社会福祉協議会に、引き続き管理運営を行わせたく、指定管理者の指定を行う」

「今までの管理運営について、具体的にどのよう

に評価したのか。」

「1日の利用者は、19年度は、1日16人、20年度に入ってから、18人と、利用者が増えており、市民からの要望も多く、今後も、運営を行っていく。」

「広く周辺地域の方々にも活用できないか。」

「施設に関しては、高齢者に限らず、子どもたち等も含め、健康教室としても利用している。」

「以上、原案のとおり可決すべきと決定した。」



# 産業建設 常任委員会

## 観光事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1億6,600万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億3,400万円とする。歳入では、胎内スキー場関連の施設及び、パークホテル等の施設の事業収益が減収していることから、事業収入、諸収入を減額、その補てん財源を一般会計から繰り入れて増額。歳出では、平成20年度における各施設の運営費の確定見込額に合わせて、それぞれ減額。

**質問** パーク・ニューパークの収入源は。

**回答** 入り込み数は、昨年並みだったが、客単価の安い合宿や団体の教育旅行が多かったため。

**質問** スキー場の当初の見積り額と来場者数は。

**回答** 7〜8万人で2億5千万円を見込んだが、3月4日現在の来場者数4万1千人。

**質問** スキー場を全面閉鎖したらどうなるのか。

**回答** 元の山に戻して国に返還する事になるが、莫大な経費が必要。

**質問** スキー場の長期的見通しは。

**回答** 胎内らしい運営が必要で、新しい着眼点で改善していきたい。

**地域産業振興事業特別会計補正予算**

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4,676万1千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ10億8,984万8千円とする。

米粉製造量が、大幅に増えてきていることのほか、平成20年度の各事業費の確定見込額に合わせて、関連する予算を補正。

**質問** ワインの在庫数は。

**回答** 19年産が1,700本。20年産が5,500本残っている。

**質問** 今後の取り組みは。

イベント販売に出向いて、地道に知って貰うよう努める。

**林産物生産施設条例を廃止**

平成18年度までシイタケの栽培を行っていたが、現在は、採算が合わないことから休止しており、施設の老朽化も著しい状態で、運営再開は困難であると判断し廃止。

**林産構造改善事業協議会条例を廃止**

森林・林業基本法の改正により、本協議会の設置義務がなくなった。

**笹口浜漁船けい留施設条例の一部を改正**

平成20年1月に北蒲原漁業協同組合が合併し、新潟県漁業協同組合に組織改編されたことで、利用者の範囲を改める。

**胎内畜産施設条例**



種豚改良センター

羽黒に所在する新潟県種豚改良センターが、平成20年度で業務を廃止すること

**市営住宅建設整備事業・基金条例を廃止**

特定公共賃貸住宅建設事業が、平成20年度の建設で終了するため、基金を廃止。以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

**道路占用料等徴収条例の一部を改正**

道路法施行令が改正され、国の道路占用料が見直されたため、国に準じて改正。

**市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正**

北東牧団地の特定公共賃貸住宅3棟が、3月下旬に完成するために改正。

**市営住宅建設整備事業・基金条例を廃止**

特定公共賃貸住宅建設事業が、平成20年度の建設で終了するため、基金を廃止。以上、原案のとおり可決すべきと決定した。



**質問** 現在の入居状況は。

**回答** 前山台団地39棟中、空き家11。黒川団地8棟中、空き家2。東牧団地6棟中、空き家3。北東牧団地8棟中、空き家0。合計すると61棟中、入居45棟、空き家16棟。

**質問** 施設の利用は。

**回答** 国庫補助事業で建設した施設なので、更地化や公園等の他用途使用は、補助金転嫁法の適用を受け、補助金返還となり無理だ。

**畜産団地条例の一部を改正**

繁殖牛事業について、市が担うべき役割は、ほぼ達成できたと考え、平成20年度限りで廃止。

**道路占用料等徴収条例の一部を改正**

道路法施行令が改正され、国の道路占用料が見直されたため、国に準じて改正。

**市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正**

北東牧団地の特定公共賃貸住宅3棟が、3月下旬に完成するために改正。

**市営住宅建設整備事業・基金条例を廃止**

特定公共賃貸住宅建設事業が、平成20年度の建設で終了するため、基金を廃止。以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

**反対** 高橋政実議員

政務調査費が近隣自治体と比べて低位に有る事は承知している。又近年数々のネットワーク活用で、議員の調査教育の手段は数段手短かにもなっている。

一方、市の財政はきわめて厳しく、財政健全化に向けてその計画が進行中である事から、結果の出る平成23年度を見たうえで論議され

# 市議会政務調査費について

**賛成** 八幡行雄議員

政務調査費は、議員が行う調査研究、政策立案など、日々の活動を保障する活動費であって、加えて、地方分権によって、地方自治体の自主性、自律性が求められている現在、議会の政策形成機能の充実のためにも重要で必要なものと考えなければならぬ。

また、議会は、議案の提案、修正、意見書の政策決

るべき事と思う。こうした状況下、とり急ぎ増額改正しなければならぬ逼迫性は薄く、今時点では「時期が悪い」「市民の理解度が薄い」などの理由で反対する。



定の権限を持っている。

そのために市民から負託された問題の解決のために、議員同士が調査研究し、議論し合うことが必要で欠かすことが出来ない。

したがって、私たち議員は 市民の目線でニーズに応えるため、知識、見識を高め、議会活動に努めるため「政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」に賛成する。

**反対** 赤塚タイ議員

市議会議員の一助となる政務調査費の増額の理念には賛成だが、今日の胎内市の財政の現状下においてい

かがなものである。その大きな理由は、ここ数年間の予算編成においてマイナスシーリングが続いている状況である。21年度当初予算では2億5千万円の財源不足、依然

**賛成** 小林兼由議員

この案件は議会よりの発案、要求であり、それを今となつての反対は議会を否定するものであり、見下げた行為といわねばならない。地方分権の進展により、

地方公共団体の自己責任は拡大しており、団体意思を決定する議会の役割が重要となつてくる訳である。いかに住民が満足する行政執行に繋げる事が出来るのか、そういった観点こそが、

# 討論

として高い水準にある実質公債費比率、引き続き厳しく管理する必要があると公債費負担適正化計画の中で警鐘する。

156万円の新規財源を要求する議員側、真剣に予算編成に当たっている職員を思うと議員のあるべき姿なのかと疑問に思う。行政改革のピークとも言える21、22年度、議員のための新規財源要求の時期ではなく反対する。

我々議会に求められるのであり、今回の反対も前回の議員定数削減と同じように住民受けをねらつた選挙用のパフォーマンスとするなら、善意に名を借りた偽善者といわねばならない。同じ手は通用しない。

地方行政も自立を求められており、財政難の今だからこそ議員も研鑽を積む事が、住民の福祉、住民のメリットに資する事は当然であり賛成する。

**反対** 赤塚タイ議員

黒川地区の市民が今でも敬愛して止まない伊藤名誉市民の著書「先優後楽」の中に「政治家が政を為す時は、人より先に憂え、人より遅れて楽しむこと。」市長、市議は責任の重い非常に大切な職種であり、地位の高い人にはそれにふさわしい義務がある。その立場にある限り先優後楽を信条として行動の規範としたいと述べている。

2009年度予算案、市税収入前年比3.1%減、普通建設事業費88%増、市債発行額7.8%増と油断できない状況である。

**賛成** 須貝 繁議員

選挙の公平性と人材登竜門への道を開くべく賛成の立場から討論をさせていた

公職選挙法が選挙運動の期間や金額について制限しているのは選挙運動の公平性を期すことにある。今回提案された条例は、選挙運動に定められた条件を満たした場合その費用の一部を公費で負担する改正であり、県内各市の状況を

# 市議会議員・市長の選挙における公費負担について

勘案し胎内市だけが突出しているものではない。反対する議員は「一般会計予算」の審議や本会議での本案についての質問、委員会審議の傍聴もなく、他を指導し、模範となるべき立場の方の発言とは思われない。

本議案は議会においても全員で慎重に協議、議論を重ねて、優れた人材が立候補しやすい環境を整え、市政と地域社会の発展に寄与されることを期待するものであり、私は本条例案に賛成する。

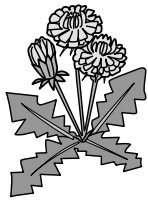
# 未曾有の不況を乗り越える 県内20市で最高の積極予算!

## 平成21年度予算審査 一般会計 3月11日

### 歳出

#### 総務費

平成21年度一般会計の当初予算は、対前年比17・4%増の161億5,600万円で県内20市を比較して最高の伸び率となった。歳出の性質別予算の内容では、消費的経費として、物件費、補助費、維持補修費などが増加し、全体で3・4%の増額となり、投資的経費では、普通建設事業費が88・0%の増額となった。



**質問** 胎内リゾートを民間に移行するための職員教育をどのように行うのか。  
**答弁** 時代の変化に対応するため「J.T.B.F」の指導を受けながら、意識改革、モチベーションの向上を図っていく。 ※P20の用語解説参照

**質問** デマンドタクシーを運行し、新潟交通(株)の赤字路線を廃止すると、今後、赤字補てん経費はどのくらい圧縮できるのか。  
**答弁** 赤字の6路線の見直しで、約3,000万円圧縮できる見通しである。

**質問** NI友好会館工事請負費の内容は。  
**答弁** 機械室屋上の防水工事とホールの煙突脇の補修工事である。

#### 民生費

**質問** 議会の事務室の間仕切り工事の額は。  
**答弁** 299万3千円の予定である。

**質問** 合併振興基金運用益活用事業補助金は、どのくらいの集落の要望に応えられるのか。  
**答弁** 昨年は、各行政区・団体を合わせ33件であった。

**質問** 本年度、保育園の入園者の状況は。  
**答弁** 入園児は25名の増で内17名は未満児である。

**質問** 生活保護扶助費の受給者等の内容は。  
**答弁** 90世帯108人の予定である。

**質問** 健康母子手当の内容は。  
**答弁** 第3子10万円が23名、第4子以降15万円は5名を計上した。

**質問** 民生委員推薦委員会のメンバーは。推薦方法は。  
**答弁** 副市長、教育長、教育委員、学識経験者など計7名。今後、選任にあたっては、地元区長の話の伺い

#### 衛生費

ながら進めていきたい。

**質問** 子育て応援特別手当は、なぜ第2子以降なのか。  
**答弁** 多子世帯を対象にした国の交付金事業である。

**質問** 保育園の隣接市町村との越境入園状況は。それに係る協議状況は。  
**答弁** 当市から村上市、聖籠町への入園と、新発田市から当市への入園がある。村上市は受けるのは良いが出すのはダメという方針を合併の際に決めた。今後、是正するべく、広域行政の中で交渉していく。

**質問** 今年度の臭気測定は何カ所、何回を考えているのか。  
**答弁** 築地地区8事業所、乙地区4事業所、年2回を予定している。

**質問** 子ども医療費の通院を小学校卒業まで引き上げる場合の試算は。  
**答弁** 県の計画を基に試算すると、約1,000万円掛かる見込みである。

**質問** 不法投棄監視カメラ

#### 労働費

の効果、実績はあったのか。  
**答弁** 犯人特定は出来ていないが、抑止効果はあると認識している。

**質問** 不法投棄処理の費用はどのくらい掛かるのか。  
**答弁** 通報があれば職員が回収しているし、犯人がわかった場合は犯人に片付けさせるので経費はさほど掛からない。

**質問** ふるさと雇用再生特別交付金の事業別募集内容は。  
**答弁** 公園等整備4名、市民税申告事務補助1名、





観光地の景観整備3名、総合型スポーツ推進1名、21年国体競技開催2名、商店街等活性化事業2名であり、失業者を対象に23年度までの予定である。

**質問** 胎内ブランド商品販路拡大事業の内容は。

**答弁** 米粉商品のマーケット拡大を図る目的で1名雇用する。

### 農林水産業費

**質問** 黒豚事業について、今年の飼育計画、供給計画は。

**答弁** 新たに雄豚1頭、繁殖用豚5頭を鹿児島から導入し、年間約400頭の安定供給を目指す。

**質問** 種豚改良センターの施設利用について、仁谷野・追分集落との話し合いは。

**答弁** 2月14、15日及び3月7日に、県の担当者も同行して説明会を行った。今後、地元集落の同意に向けて、さらに具体的な協議を進めていく予定である。

**質問** 宮久の肥育豚舎の鶏舎への改修工事で、今後どのくらいの羽数になるのか。

**答弁** 鶏舎としては3,000羽程度可能だが、県からの雛の供給数によって決まる。

**質問** 松くい虫防除事業の事業計画内容は。

**答弁** 保安林内に作業道を設け、笹口浜地内6ヘクタール程度を地上防除する予定である。

### 商工費

**質問** 庁舎1階の市民相談室工事の内容と相談員については。

**答弁** 相談に来た方がリラックス出来るように衝立・椅子・机等整備する。相談

員は司法書士に依頼し、月2回を予定している。

**質問** 商工会補助金の内訳は。

**答弁** 中条商工会746万6千円、黒川商工会413万4千円、プレミアム商品券1,000万円である。

**質問** ロイヤル胎内パークホテルの予算は、プライマリ・バランスゼロを目指した数字なのか。どれくらいの

人件費の削減となるのか。  
**答弁** 22年度にはゼロ、21年度は赤字5,400万円が目標。人件費は、正規職員について3、4,000万円の削減を考えている。

### 土木費

**質問** 公園が多く、維持管理費も多いが、あまり利用されていないのではないのか。

**答弁** 市内で「ここが一番」という公園はないと思うが、子どもたちが安全に遊べる公園は必要と考えている。

**質問** 木造住宅耐震補助金の対象件数は。予算の使い方は。

**答弁** 20年度耐震診断した

11件の内5件が対象。1件あたり設計に10万円、補強工事に50万円を補助する。

**質問** 駅前駐車場は機械管理でなく、人的管理の方が安いのでは。

**答弁** 24時間体制なので人的管理は経費が掛かる。

**質問** 西中央線交差点改良工事は、今年どこまで進むのか。

**答弁** 本年度は用地買収を行い、工事は来年からと考えている。

### 消防費

**質問** 消防費の大幅な減額はどういうことか。

**答弁** 防災行政無線の設置が20年度で完了するため。

### 教育費

**質問** 給食センターの委託で、行政財産から普通財産にしなければならぬ根拠は。

**答弁** 行政財産のままだと委託先に財産を貸し付けられない。

**質問** 給食業務委託先への委託料に、賃貸料を上乗せ

し、相殺することは財政法上正しいのか。

**答弁** 委託料、賃貸料それぞれ別々に算出した数字であり問題はない。

**質問** 給食業者募集について、広報等で公募したのか。

**答弁** 関係業者6社に通知し、4社が辞退した為、2社の提案型見積もりの中から選考委員会で選考した。

**質問** パートや臨時は、委託業者で採用していただく覚書等はあるのか。

**答弁** 覚書まではないが、公募の仕様書に現在の従業員を優先的に雇ってほしい旨記載している。

**質問** いじめ対策の対応策マニュアルはあるのか。把握しているいじめ件数は。

**答弁** 「いじめ根絶マニュアル」はないが、危機管理マニュアルに基づき校長が責任をもって対処している。件数については19年度27件の報告を受けている。

### 公債費

**質問** 公債費の資金の借り換えで、どのくらいの利子

の削減ができるのか。  
**答弁** 利率が確定してないのであくまで仮定であるが、約2,000万円である。

### 歳入

**質問** 農道使用料の内容は。

**答弁** 東部農免道路の下に埋設管がある関係でいただいている。

**質問** ふるさと納税の実績は。

**答弁** 2件、総額で52,900円である。

**質問** 公営住宅修繕費個人負担金の積算根拠は。

**答弁** 畳の表替えの費用で、居住年数によって算出した。

**質問** 地方債の借金が増えているのに、実質公債費比率が下がるのはどういうことか。  
**答弁** 新たな借入の中に100%交付税バックがある臨時財政対策債と70%の合併特例債という優良債が多く含まれているので残額は増えても比率は下がる。



※P20用語解説参照

### 決算審査特別委員会

# 特別・企業会計

3月12日・16日

## 主 な 質 疑

### 国民健康 保険事業

**質問** 国民健康保険等の、本市における各保険の加入状況は。

**答弁** 国民健康保険では、世帯数で4,650世帯、被保険者数で8,748人。  
**質問** 保険税未納者の家族への短期証、資格証の発行状況は。

**答弁** 28世帯で51名。

- 注目される観光振興と活性化策は
- 介護保険の今後の取り組みは
- 接続率upへの下水道と農集排は

## 老人保健事業

**質問** 保険税は6月議会の条例改正で減額になるのか。また、減額を前提にした予算組みではないのか。  
**答弁** 今の時点では、この3月の申告状況がハッキリしないと何ともいえない。

**質問** 高齢者の運転免許証返上者への補助金等は、検討したのか。

**答弁** 今回の編成の段階では、そういう議論はしていない。

## 後期高齢者 医療事業

**質問** 普通徴収で滞納者はどのくらいいるのか。

**答弁** 65名が未納。

**質問** 今後滞納者が医者に掛かれなくなった場合、短期証等の発行の考えはあるのか。

**答弁** 現在、県内では、発行実績はないが、今後は検

討の必要が出てくると思われる。

**質問** 後期高齢者医療制度の対象人数は、どのくらいか。

**答弁** 12月末時点で、4,744人。

## 介護保険事業

**質問** 前年度、地域支援事業等で不用額が多かった理

由は。

**答弁** 配食サービス、生活支援事業で不用額が多かった。

**質問** ショートステイの受け入れの実情は、今後、受け入れ施設の拡充はあるのか。

**答弁** 今、一番需要があるのがショートステイであるが、今後の拡充は容易でない状況である。

**質問** 健康への取り組みで、講演会等の指導事業は予算化されているのか。

**答弁** 講演会等の様々な事業を計画している。大切なのは、介護保険を使用しない予防への取り組みと考

**質問** 支援事業での保健師の充足率は、どのようなか。  
**答弁** 本市の保健師・介護師の

充足は十分とはいえないが、不足している状態ではない。

**質問** 保健福祉事業費の包括的支援事業・任意事業費が大幅に減っているが、制度の改正か。来年度以降もこのような予算組みなのか。

**答弁** 将来の介護保険費用を抑制できるように予防に重点を置いた代替予算で編成した。  
**質問** 新しい介護認定方式と現行との違いは。  
**答弁** 実態として把握していないが、多少の介護度の差がでる可能性がある。

**質問** 介護給付積立基金の取りくずし内容は。3年の積立基金はどうなるのか。  
**答弁** 今回、1億5千万円程の基金のうち今後3年間で8,230万円の基金を取り崩す予定。

## 農業集落 排水事業

**質問** 使用料が増えて、一般会計からの繰入金が増えるという事は、どういうことか。



デイサービスセンター と・も・だ・ち



胎内市デイサービスセンター 栗木野荘



胎内市デイサービスセンター いわはら荘



黒川高齢者センター 有楽荘

**答弁** 公債費が増えたため、一般会計からの繰入金も増加した。

**質問** 接続推進の今後の対応は。

**答弁** 貸付制度等を準備すると同時に、地道に接続推進のPRを行っていく。

**質問** 農業集落排水事業接続促進費がなくなったのは、どういうことか。

**答弁** 農業集落排水運営費に組入れ、一本化した。

**質問** 接続を進めるために、使用料を特別に減額するような優遇策はできないのか。

**答弁** 既存の接続者に対する

### 観光事業

**質問** アウレツツ館事業の宿泊料金は、高いのではないか。食事の内容、利用時間等柔軟な対応が必要ではないのか。

**答弁** 今までの形態ではブライマリーバランスは取れない。収支の改善が大前提。食材は地場産中心で、利用

る不公平感や減額処理方法の煩雑性などを考えると難しい。

**質問** 農集排の導入経緯、公共性から考え、厳しい態度で臨むべきではないか。

**答弁** 接続推進については、高圧的な態度よりも粘り強いお願いのやり方の方が受け入れられるのではないかと考えている。

**質問** 今後予定されている住宅リフォームの補助と絡めて、活用推進できないのか。

**答弁** 担当所管課と前向きに検討したい。

時間は柔軟な対応を取りたい。

**質問** スキー場事業収入が増加している根拠は。

**答弁** 3ヶ月間の営業を予定しており、誘客増を図りたい。

**質問** スキー場業務委託料の委託内容は。固定費は必ず掛かるが、ペアリフトの取り外し経費はどのくらいか。

冬期間において、新潟高原リゾート開発(株)と株

新潟フルーツパークからの人材派遣。経費は200万円程度。

**質問** スノーファンクラブ負担金とは、どういう経費か。会議などあるのか。

**答弁** 全県スキー場が加盟し、誘客宣伝を行っている。会議は年2回開催。

**質問** 今年度の大人、子ども利用人数の把握は。子ども用の、ちびっ子広場の拡充は考えられないのか。子どもを焦点にした、イベントの考えはないのか。

**答弁** 大人、子どもの別はしていないが、3月9日締めで42、139人の利用者。近年は暖冬少雪で、ちびっ子広場は人工造雪機で対応している。経費増で拡充は難しいが、今後は別角度からも検討したい。

**質問** アウレツツ館の新年度の予約状況は。予算上どのくらいの予約を見込んでいるのか。また、どのくらいの入り込みで、収支がとれるのか。

現在の予約状況は、7,500泊。予算計画は10,000泊。収支がとれるのは、13,000泊程度。

**質問** 隣接体育館の今までの利用状況は。また、合宿のPRはどのようにしているのか。

**答弁** スポーツの合宿と地域のスポーツ活動。今までの実績により首都圏からの大学・高校の合宿の予約が多い。

**質問** 地ビールに賞味期限があるというが、その期限は。また、期限切れのビールの処理は。

**答弁** 賞味期限は一ヶ月。樽出しの部分の期限切れはないが、瓶ビールの返却は廃棄処分する。

**質問** 地ビールの需要の伸びは。今後の予想は。

**答弁** ここ3年程24、25キロリットルで需要は横ばい。昨春秋以降少しづつ需要が伸びてきている。

黒豚の一頭当りの生産単価、一頭当りの営業利益はどのくらいを見込んでいるのか。

**答弁** 農家から豚一頭18,000円で購入して48,000円で売却しており、採算ベースは取れている。

**質問** 企業債は借金を返すために借金をするということなのか。

**答弁** 企業債は単に起債を返すために起債するということは認められていない。目的があつて起債をするということである。

**質問** 職員が夜間に接続率向上のために努力しているというが、残業という形か。それで年間どのくらいの接続となるのか。

**答弁** 業務命令で時間外で行っている。また、具体的な効果の数字化はむずかしい。

**質問** 一般会計からの繰入金が増加しているが、

一般会計からの繰入のシミュレーションができていないのか。

**答弁** 一般会計が負担しているものではなく、国からの交付税を一般会計によって経由している。そのため財政適正化計画に対応するものではない。

**質問** 新設用容量水器購入数の今年度の増加目標は。

**答弁** 62軒の新規需要数を見込んでいる。

**質問** 簡易水道と上水道を一本化するべきと思うが、市の考えは。

**答弁** 現在、両者の料金は1.5倍の格差があり、将来的には検討課題と考えている。

**質問** 上水道と簡易水道は性質が違うから、一本化は出来ないはずだが。

**答弁** 今すぐにどうのこうのと結論を出す考えはないが、色々な角度からシミュレーションを行い検討していく必要があると考える。

一般会計からの繰入のシミュレーションができていないのか。

### 地域産業振興事業

### 公共下水道事業

### 水道事業

※P20の用語解説参照

一般質問には何回か傍聴していただきました。自分達が支持した議員がいかに市民と支持者の代弁者として活動してくれているかを知ることには良い機会であることが、大きな収穫でありました。それにしても傍聴者があまりにも少ないのでとても残念に思いました。議員の方について申し上げますと、マイクの声が一段と小さく聞きづらく、内容がわかりにくくてよく理解できなかったのは私だけではないかと思えます。又、紙面をお借りしてひとこと言わせてもらいますと、学校教育の一つとして小学五、六年生と中学生にも傍聴の体験学習をやってみせてはどうでしょうか。

# 第1回定例会

## 傍聴記



星の宮町  
藤間 優子さん

最後になりますがおもっと多くの傍聴者が来れますように願っております。



藤間優子さん作

平成21年3月29日(日)午前9時30分  
胎内市星の宮町にトキがくる。

### 用語解説

- \*プライマリーバランス：借入れによる収入や元利払いなどを除いた財政収支
- \*スマートインター：ETCを活用した無人の料金所
- \*ALT：外国語指導助手
- \*JTBF：財団法人日本交通公社

## 議会の動き



H21年 2月

- 17日 議会運営委員会
- 24日 第1回定例会(初日) 全員協議会
- 26日 議会運営委員会

3月

- 3日 総務文教常任委員会
- 4日 厚生環境常任委員会
- 5日 産業建設常任委員会
- 6日 第1回定例会(会派代表質問)
- 9・10日 第1回定例会(一般質問)
- 11・12・16日 予算審査特別委員会
- 19日 議会運営委員会 第1回定例会(最終日) 議会報編集特別委員会

### 6月定例議会日程(予定)

- 6月9日 本会議(初日)
- 12日 総務文教常任委員会
- 15日 厚生環境常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 18・19日 本会議(一般質問)
- 24日 本会議(最終日)

## 「議会報モニターアンケートより」

(2月No.16号を見て)

◎写真やイラストが良く利用されて、読みやすく出来ていると思います。  
◎質問と答弁(市長や教育長)の区切りがわかりづらいところから思っていたが、今回質問の部分全体に色をつけたのはいいと思います。色がこすぎるような気がします。  
◎「東学校給食センター」の写真、大きくてよかったです。仕事の様子がよくわかります。  
◎表紙の防火訓練の写真は、訓練の迫力が感じられないように見られあまり好ましくない。裏表紙に子ども議会の写真が掲載されているが、議会の内容も記載して欲しかった。  
◎今回の議会だよりは、用語の解説が少なくなっているのではないだろうか。議会・議員では常識の用語でも年寄りも子どもも市民の皆が理解できるように編集して欲しい。  
貴重なご意見ありがとうございました。(編集委員)

## 編集後記

チュウリップが咲き揃い、身も心も躍動する季節を迎えました。今回の議会から会派代表質問が行われました。それに沿ってレイアウトを工夫しました。

胎内市では県内で初めて『のれんす処』の取り扱いが始まりました。その乗り継ぎ場所であり予約センターでもある『のれんす処』が本町通りにあり、覗いてみました。きれいな待合所には、中央にテーブルとイスが、そして大型テレビが設置されています。自由にお茶飲み

ができるようにポットも用意されていました。また、赤ちゃん連れのお母さんが安心して授乳やオムツ換えができるように、「赤ちゃんの駅」のコーナーが待合室の事務所内にあります。

この『のれんす処』と『のれんす処』が利用者同士の賑やかな交流の場となつて喜ばれ、デマンドタクシー利用の買い物客で市内の商店も賑わうことを心から願っています。

(新治ひで子)



平成21年5月1日 発行責任者 議長 斎藤 貢

FAX (0254) 43-6111 (0254) 44-7875

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社天野印刷